誰かを支えたい気持ちが地域をつくる
～「おすそわけ」の仕組みづくり～

社会福祉法人協議会　おおた地域共生ボランティアセンター

地域包括支援センター　地域福祉課　特別出張所　生活福祉課

シニアステーション　町会・自治会　民生児童委員　こども食堂

ひとりひとりがお互いの生き方、暮らし方を尊重し合い、さまざまな「制度のはざま」にいらっしゃる方々も安心して暮らしていける地域となることを願って。

多様な主体と連携しての伴走的支援や、おおた福祉ネット調布地区での取り組みを含む「だれでもいつでも近所でおすそわけ」に協力できる仕組みづくりをご紹介します。

○地域福祉コーディネーター（調布地区担当）

折居　咲果

黄川田　菜穂

苫米地　晶子

前田　麻里

○ゲストスピーカー

社会福祉法人 池上長寿園
経営本部公益事業担当課長

木下　篤信 氏

社会福祉法人 響会
地域課長

土井 栄美 氏

○本日の発表内容

1　地域支援コーディネーターの支援について

2　社会福祉法人協議会（おおた福祉ネット）
　　調布エリアの取り組み紹介

3　その他取り組み紹介

4　まとめ～地域共生社会へ～

1　地域支援コーディネーターの伴走支援について

①地域福祉コーディネーターの地域支援

②地域福祉コーディネーターの個別支援

③地域福祉コーディネーターの参加支援

個人の方のご相談と支援数(2024年4月～12月末時点)

地域福祉コーディネーターの個別支援

個人の方のご相談の内訳／大田区全域
751件(複数選択)
(2024年4月～12月末時点)

個人の方のご相談の内訳／調布地区
226件(複数選択)
(2024年4月～12月末時点)

ご相談を伺うことで、積み重なった課題や、“制度のはざま”の状況が見えてきます。

長年介護をしてきた夫が
亡くなり、色々な手続きを
しなくてはならないの。
気持ちの整理が追い付かない。
自身の年金だけでは家も
出なくては
ならないかも
しれないし、
この先どうすれば…。

孤独

金銭管理

住居

就労

若いころに人に裏切られてさ。
それから友人を作るのも嫌に
なって。同じような気持ちの
人となら話せるかもしれない
けど、病気で遠くには行けな
いし…。

社会参加

孤独

病気

私には身体・精神障害や、過去の
トラウマからのPTSDの苦しみが
あります。
精神障害当事者を対象とした
サービス事業所は身体障害を
想定していない場所も多く
利用に難しさがあります。

障害

外出困難

病気

社会参加

夫のことは信頼しているけど、
暴力を受けることもあります。
近所のこども食堂にいつも話を
聞いてもらっていて、すごく感謝
しているのに、優しくしてもらうと
つい感情的になってしまうんです。
見捨てられたらどうしよう。

家族関係

就労

病気

食料
（低収入）

80歳、一人暮らしです。
最近人の名前や、約束を忘れて
しまうことがあるの。包括さん
に、社協で食糧をもらえるって
聞いたんだけど、蒲田まで
行くのは難しいわ。
うちの近くにも
渡してもらえる
ところはないかしら。

課題整理

社会参加

シングルマザーとして育ててきた
息子が家を出てしまったので、
いきなり一人暮らしになって…。
引っ越したから近所にお友達も
いなくて、誰も話す人がいない。
すごく孤独です。

孤独

家族関係

様々な機関や、主体と連携し、課題を整理したり、生活を支えます。

社会福祉法人

いきいき仕事ST

こども食堂

成年後見センター

自治会・町会

地域包括支援センター

絆サポート

民生児童委員

地域福祉課

こども家庭支援センター

食料支援

特別出張所

生活福祉課

スクールソーシャルワーカー

生活相談

こころの健康相談

地域を支える様々な主体や機関との連携・ネットワークの形(会議体等)

地域福祉課
(多機関連携調整担当)との定例会

地域力推進会議

支援会議

権利擁護支援検討会議

《大田区の圏域構造と地域包括ケアシステムの関係性のイメージ》

１８の日常生活圏域を基本とした地域包括ケアシステムの構築を４つの基本圏域、区全体で支援

見守り支え合いコーディネーター(地域包括支援センター)との情報交換会

民生児童委員協議会

重層的支援会議

地域ケア会議

２　社会福祉法人協議会（おおた福祉ネット）調布エリアの取り組み紹介

おおた福祉ネット
区内に施設・事業所をもつ「社会福祉法人」のネットワーク体

重層的支援体制構築に向けて

社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」
…平成27年から築いている福祉職のネットワーク
×
大田社協における「フードドライブ/フードパントリー」
…地域において拡大する「食を通じた居場所」

大田区HPより

➤「重層的支援体制」
複雑化・多様化した世帯の課題を
丸ごと専門機関へ相談しやすい
地域の仕組みづくり

調布地区　社会福祉法人連絡会にて
幹事法人の皆様より

取り組み①

フードドライブ

ご家庭にある未利用品の食料品の寄付を募る活動

令和６年８月～
ファミリーマート上池台４丁目店

令和６年１１月～
調布地区すべての地域包括支援センター窓口

包括　嶺町

包括　田園調布

包括　たまがわ

包括　久が原

包括　上池台

包括　千束

取り組み②

食料の仕分け

食料のお渡しに向けて、
若年性認知症通所事業所HOPEの皆さま・
おおた福祉ネット（調布地区）の皆さまに
食料品を仕分けしていただきました。

HOPEメンバーさま・おおた福祉ネットの法人の皆様

お米の計量・梱包

種類ごとに仕分け

集まった食料品を必要な方々に無料で配布する活動

取り組み③

幸せのおすそ分け会（フードパントリー）

～つい長居したくなる＆お悩みがこぼれる場所を目指して～

食料品を配るだけではなく…

カフェスペース

地域の方の作品展示

抽選会

まちかど相談室の同時開催

来場者からの声

小さな子どもがいて、まだ思うように長時間働くことが出来ないので本当に助かります。物価高でお菓子を買うことを控えていたので、子ども達も喜ぶと思います。

３年しか派遣が勤められないので将来が不安です。私が参加していいのかと思ったのですが、誰でも参加して下さいと書いてあったので参加しました。本当にありがとうございました。

物価が上がる中で助かります。嬉しい、温かい気持ちになりました。

また、こんなイベントがあれば嬉しいです。

初めてでしたが、居心地がよくて良かったです。

主人を亡くして、皆様とお話できてうれしく思います。

子連れでも利用しやすく大変助かりました。赤ちゃん用もあってありがたいです。

取り組み④

子ども食堂さんなど地域の居場所へのお渡し

フードドライブにて集まった食料品を、
調布地区の子ども食堂さんにお渡し。

子ども食堂　カフェキャビン様
社会福祉法人響会　土井様

いつでも・だれでも、ご近所で、おすそわけができる。

地域の方を、地域で支えるネットワークが広がっていく。

「幸せのおすそわけ会(フードパントリー)」のために、もともとあった、**「田園調布せせらぎ館」・「地域包括支援センター千束」・「ピーコックストア石川台店」**などのフードドライブ拠点に加え、令和6年11月より調布地区**全6包括で常設のフードドライブが始まりました。**

今後も**調布地区のどこでも「おすそわけ」ができ、必要な人に届ける仕組みづくりを地域の皆様や社会福祉法人の皆様と一緒に行っていきます。**

地域の皆さまの思いやりが

地域福祉Co

地域福祉Co

地域の方々の手を経て

地域福祉Co

地域の皆さまに届く

地域福祉Co

３　その他取り組み紹介

フードにとどまらない「おすそ分け」の取り組み紹介

スタディドライブ～文房具の寄付～

令和６年６月１日～６月３０日の間、田園調布せせらぎ館にて、
新品・未使用の文房具の回収活動が行われました。
大田区初の取り組みでしたが、３０８０点もの寄附が集まりました。
集まった文房具は、社協の地域福祉コーディネーターを通じて、区内こども食堂、学習支援教室、受験生チャレンジ窓口、フードパントリー等を利用するご家庭の子どもたちに配布されました。

※現在、せせらぎ館ではスタディドライブは行っておりません。

↑回収活動をしてくださった田園調布せせらぎ館(左)山田さん・(右)黒崎さん
せせらぎ館では、（一社）田園調布グリーンコミュニティ の方が地域連携・協働の役割を担っています。

地域で「ほっとできる居場所」づくりの紹介

「Caféひなたぼっこ～みんなでおしゃべり～」は、高齢の方や子育てに疲れ気味の親御さんなどが気軽に立ち寄り、お話をしてリラックスできる居場所をつくりたいという、千束地区の民生児童委員の皆さんの思いで立ち上がり、今年度から月に1回の開催をしています。
現在では高齢の方を中心に、障がいのある方、ご自身の特技を知ってほしい方、包括に介護の相談に来た若い世代など、地域の人達の立寄って話し、憩う場所が出来上がりつつあります。

民生委員のみなさんが
美味しいドリップコーヒー
を淹れて提供しています。

来場した方の特技が、
シニアステーションの講座に繋がることも多数。カフェに来た方が、その講座にさらに来場されるなど、地域の輪が広がります。

お1人で来場した方同士も、
運営メンバーがお話をしながら徐々にご近所トークで繋がりを持ち始めます。

Cafeひなたぼっこ

～みんなでおしゃべり～

誰でもふらっと来て、おしゃべりしたり
お茶を飲んだりできる立ち寄りどころとして
「Caféひなたぼっこ」を月1回開催します。
ハンドドリップコーヒーなどご用意して
お待ちしております。
★大田区在住・在勤の方なら年齢不問です

日にち：令和6年
9/18（水）、10/9（水）、
11/8（金）、12/13（金）

時間：午後2時～4時
予約なし！　時間内出入り自由です

場所：シニアステーション千束　活動室
大田区北千束2-35-8（赤松小学校敷地内）

費用：100円（お飲み物代）
満席の場合はお待ち頂く場合があります　（席数20程度）

QRコードをスマホで読み取るとシニアステーション千束の予定表がご覧になれます

※体調がすぐれない場合はご遠慮ください
安全衛生対策にご協力をお願いします

ひなたぼっこ実行委員会
《協力》
千束地区民生委員児童委員協議会
シニアステーション千束
地域包括支援センター千束

問合せ先：03-3728-6673
（地域包括支援センター千束）

「Caféひなたぼっこ～みんなでおしゃべり～」実行委員
千束地区民生児童委員・包括支援センター千束・シニアステーション千束
大田区社会福祉協議会(地域福祉コーディネーター調布地区)

4　まとめ～地域共生社会へ～

さまざまな暮らし方
生き方を支える

ボランティアの方や
利用者同士の繋がり

居場所づくりやおすそ分けの気持を通して、支え合いのネットワークが広がっていく

居場所づくりやおすそ分けの気持を通して、支え合いのネットワークが広がっていく